

講義名	ジェンダー論					授業形態	
担当教員	水野 英莉	開講期・曜日・時限		後期 木曜日 4 時限			
		単位数	2	履修開始年次	2 年生	ナンバリング・コード	SOC283

主題と概要
ジェンダーとは、社会的・文化的につくられた性のありよう（女らしさ、男らしさ）のことです。この講義では、受講生にとって身近な素材から、ジェンダーにかかわる常識や当たり前を問い直していきます。 この問いを繰り返すことにより、柔軟な考え方と幅広い視野を手に入れることを目的としています。ここで得る知識と視野は、日常生活や自分の人生設計（進路選択）を考えるうえでも役立ちます。さらに、自分だけでなく、周囲の人の生きやすさを考える手立てとなるはずです。

到達目標
（１）ジェンダー論の基本的をおさえている。 （２）ジェンダー論の視点で幅広い社会現象を分析することができる。 （３）「自分で手べる」姿勢を身につけている。

提出課題
毎回講義内で課される予習テストの解答 講義内に提出するワークシート等

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
前週に行った予習テストや課題の解答・コメント・質問に対し、応答します。

評価の基準
平常点（50％）：毎講義時の予習テスト、個人ワーク、グループワークとグループディスカッション 中間試験と期末試験（50％）：ただし期末試験を受験しなければ「放棄」とみなされる。 期末試験は第15回講義内で実施する。

履修にあたっての注意・助言他
・この講義では、教科書をあらかじめ各自が自宅で予習することを求めます。 ・毎回の講義開始時に、予習内容の理解度確認のため、予習テストを行います。 ・この予習テストの8割に達した人が講義に出席することができます。 ・講義では、個人やグループでのワーク、グループディスカッションを中心に行います。 ・この講義では、教員が話すのは短い時間で、学生が主体的に学びを深めることに集中します。私語、いねわり、携帯で遊ぶなどは、時間的に不可能です。この点をよく理解して履修してください。

教科書				
・ジェンダー論をつかむ。	千田有紀ほか編	有斐閣	1900	9784641177161

参考図書				

その他
資料 必要に応じて配布する場合がある。参考文献も講義中に適宜指示する。 講義では、理解を深めるため、映像資料やウェブ上のサイトなども利用する。

授業計画
1．オリエンテーション 2．性別とは何か（unit1） 3．ジェンダーをとらえなおす（unit2） 4．近代家族とジェンダー（unit14） 5．無償労働とケアワーク（unit14） 6．ストリートハラスメント、デートDV（unit15） 7．母と生殖に関する権利（unit20） 8．中間試験 9．女性の労働と賃金格差（unit17） 10．職場慣行（unit8） 11．かくれたカリキュラム（unit11） 12．教育の男女格差（unit12） 13．参政権と政治参加における男女格差（unit18） 14．ケアとトランスジェンダー（unit22） 15．期末試験

予習と復習
1 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分） 2 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分） 3 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分） 4 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分） 5 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分） 6 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分） 7 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分） 8 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分） 9 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分） 10 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分） 11 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分） 12 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分） 13 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分） 14 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分） 15 予習：教科書の復習と課題テストが合格ラインになるまで受験する（120分） 復習：講義内容の見直し、疑問点の洗い出し（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
☐	ア：PBL（課題解決型学習）	☐	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐	ウ：ディスカッション、ディベート	☐	エ：グループワーク
☐	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
この科目では学校や家族、市場や国家など、さまざまな領域にわたって振り分けられてきた「男」や「女」のあり方をめぐる「常識」を問い直すこと、問い直す意義を理解し、考える能力を身につけることができる。 ジェンダーにかかわる問題を生じさせる社会の仕組みや働きを解き明かし、そのあり方を根本的に問い直し、そのために必要な専門的な知識を修得し、理解し、考えることができる能力を培う。 また、「社会人」として、性別、性的指向に関わる「常識」によって搾取、差別されることのない、より良い社会の形成に貢献するために、自分ができること、社会的に変わらなければならないことを考え、何らかの提案ができる能力を培う。 これらの能力は、性別、性的指向、性自認などによって生きやすさを奪われない社会の実現と、性別にとらわれずに個人がのびのびと自己実現しながら、労働し、生活する社会の実現のために必要不可欠な能力である。 また、授業内容を理解したうえで生じた自分の考えを相手にわかりやすく伝え、さらに他学生の意見に傾聴し、グループでより良い具体的なアイデアや提案をするなどして、コミュニケーション能力を身につけ、実践的に活用することができるようにする。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
・授業内で使用するスマートフォン、タブレット等のいづれかを準備してください。 ・事前にパワーポイント等の資料のPDFをキャンパスクロス等にアップロードする場合があります。 ・学内メールアドレス、パスワードをあらかじめ確認しておいてください。

実務経験の有無及び活用

備考